

平成28年8月12日  
経理部会計課

## 独立行政法人国際交流基金 契約監視委員会(平成28年度第1回)

### 議 事 要 旨

1. 日時：平成28年8月5日(金)14:00-16:30
2. 場所：独立行政法人国際交流基金9階第1セミナー室
3. 出席者：
  - (1) 委員  
渡邊一弘委員長、宮本和之委員、山本裕子委員、鴨志田文彦委員
  - (2) 外務省  
広報文化外交戦略課 橋本博史外務事務官
  - (3) 国際交流基金  
櫻井理事、貴島総務部長、古屋経理部長、清水監査室長、平林会計課長、審議案件担当者
4. 主要議事：
  - (1) 調達等合理化計画(平成27年度契約状況及び平成28年度計画)(報告)
  - (2) 再委託案件、一者応札・応募案件について(報告)
  - (3) 個別案件(全8件、うち2件の連続一者応札フォローアップを含む)(審議)
5. 主要議事概要：
  - (1) 調達等合理化計画(平成27年度契約状況及び平成28年度計画)(報告)  
事務局より以下2点を報告。
    - ア. 平成27年度契約状況について、映像事業部の放送コンテンツ等海外展開支援事業やアジアセンターの共催事業の拡大を受け、基金事業の特性による随意契約が増加しているが、右を除外した競争性のない随意契約件数は、平成26年度とほぼ同数。
    - イ. 平成28年度は5つの重点分野を定め、基金事業の特性による随意契約を除外した調達における競争性のある随意契約件数の割合を79.4%以上とする数値目標を設定。

委員：各法人の調達等合理化計画との比較、数値の平均化を行っているか。

基金：各法人で特性が異なることもあり、行っていない。

(2) 再委託案件、一者応札・応募案件について(報告)

平成28年4月1日から6月15日の間に締結された契約のうち、再委託案件(3件)及び一者応札・応募案件(6件)について、また、一者応札・応募案件リスト内に「要因の区分」欄を新設したことについて、事務局より報告。

(3) 個別案件の審議(案件一覧は別紙の通り)

ア. 文書保管業務委託契約(平成28年度)

基金：一者応札アンケートを受け、今後、公示期間の長期化、倉庫性能を示す認定基準の規定方法の再検討を予定している。

委員：認定基準以外の入札辞退理由は何か。

基金：過去の入札を経て、落札価格が低くなっているため、採算がとれないと判断した業者もあると理解している。

委員：保管文書数の変動・移動はあるか。

基金：文書管理規則に基づき、一定の保存期間を過ぎた文書は確認の上、廃棄または保存延長する作業を毎年行っている他、業務の必要性に応じて、閲覧することもある。

委員：情報セキュリティ認証及び省庁・法人との契約実績を競争参加資格に含めている理由は何か。他法人も同様か。

基金：他法人の要件は不明であるが、公文書の保管及び昨今重視されている情報セキュリティの観点から、この2点も競争参加資格に含めている。

委員：文書の移管経費は落札業者の負担となっているが、新規業者参入を阻害する要因にならないか。

基金：倉庫業界では「新規受注＝他の保管場所から移管することが前提」であり、移管経費を落札業者が負担することが慣例となっている。

委員：予定価格作成に平成23年度の入札価格が参照されている。落札率が低いこともあり、こうした数字の使用は適切か。

基金：実際の市場価格が公開資料から読み取り難い場合は、過去の実績額を使用することもある。

委員：2年の契約期間は妥当か。

基金：倉庫業界に確認したところ、景気動向に応じ、需給関係及び金額に変動があるため、契約期間は2～3年が一般的との由。

イ. 平成28年度公用車運行管理業務委託契約

基金：総合評価方式で、提案書提出期間が短かったことが、一者応札の主な要因として考えられる。次回は提案書作成に十分な期間を設けることとしたい。

委員：公用車運行業務は一般的な契約だと思うが、応札業者が限られる特別な仕様は含まれているのか。長距離利用などあるのか。

基金：地方出張には利用しない。主に都内施設訪問時に使用している。仕様上、他法人との大きな違いはないと思う。質を確保するため、提案書にドライバーのバックアップ体制の記載を求めていたが、上述の通り、提案書作成期間が短かったため、人員確保が難しかった模様。

委員：提案書提出は何社か。

基金：一者のみである。

委員：入札不調理由は提案書の内容か。

基金：提案書の内容に問題はなく、不調理由は予定価格を超えたためである。

委員：前回入札時の契約内容、提案書記載事項から変更はあったのか。

基金：仕様、提案書記載事項、また、契約金額にも大きな変更はない。

#### ウ. 「第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展」映像制作業務委託契約

案件審議に入る前に、抽出案件概要の書式内に、随意契約の相手方選定プロセスについて明記する欄を新設した旨等を、事務局より説明。

基金：本件は建築展出展映像作家に日本館用の映像作品の作成を委託したもの。基金側で仕様を指定して入札する業務ではなく、芸術作品の作成業務に当たる。指名コンペ、国際展事業委員会による選考を経て決定したキュレーターが、プレゼン時に提示していた映像作家が代表を務める会社を相手方として随意契約を締結した。

委員：建築展のテーマ・内容は毎回異なるのか。次回も同様の映像作成業務を予定しているか。

基金：内容は毎回異なる。また、展示内容に映像が含まれるか、あってもどの程度の長さの作品になるか、企画次第である。

委員：予定価格の作成はどのように行っているか。契約金額が予定価格より100万ほど下回っている要因は何か。工数または単価が異なるのか。

基金：過去の映像制作業務の実績を基に予定価格を積算している。相手方が儲けを考えずに、また、工数を工夫して安価に抑えてくれた模様。芸術作品の価格算定は難しいが、調達方法、予定価格作成方法など、都度適切な方法を検討していきたい。

委員：指名コンペ、審査会のルール、規程はあるのか。記録はどのように残るのか。

基金：指名コンペは、会場を始めとする、実施概要が確立しているヴェネチア・ビエンナーレについてのみ行われており、10年前から実施している。コンペ参加

者、プレゼン内容、委員による講評を公開している。本件以外の事業で指名コンペを実施するのは難しい。

委員：作品の著作権は基金に帰属しているのか。

基金：著作権は作成者にあるが、使用時に基金のクレジットを明記している。

#### エ. 「第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展」出展作品国際運送契約

基金：抽出理由の低い落札率は、落札額が大変低く、かつ、予定価格が高めに設定されているためである。

美術品の海外輸送が担当できる業者は大手 2 社、中堅数社に限られ、本件相手方は近年契約数が限られ、今回は実績作りのために思い切った金額を提示したものと思われる。

美術品輸送の予定価格は、過去の類似案件の実績を基に積算するが、当方は輸送や梱包の専門知識が限られるため、安全を期して、厳重な梱包を想定し、予定価格が高めとなる傾向がある。他方、本件の場合、落札調書の通り、予定価格を上回った応札者もあり、輸送経費積算の難しさが伺える。

委員：今後の入札で金額が上がってくる可能性はあるか。

基金：今回は非常に低価格なので、次回は上がるだろう。

委員：入札により競争が行われている点、また輸送業務の予定価格の積算が困難である点、把握できた。

#### オ. 「東京ブラススタイル・メキシコ公演」に係る業務委託契約

基金：グアナファト国際映画祭事務局、在メキシコ日本国大使館の要請に基づき、東京ブラススタイル派遣を決定し、同グループが所属する有限会社と公演団派遣に係る業務委託契約を締結。団員計 11 名に対し、公演謝金、日当・宿泊費の一部を支払う内容である。

委員：随意契約の「ウ. 海外に派遣する公演団との派遣契約」に挙げられている計 5 件のうち、本件のみが業務委託契約、他は出演／公演団契約となっているのはなぜか。

基金：慣例的に公演団契約という名称を使用している。本件は名称こそ異なるものの、契約内容として同一のものである。

委員：契約が同内容であれば、契約件名は統一するようご検討いただきたい。

委員：先方に紹介した団体は東京ブラススタイル1グループのみか。

基金：過去のセルバンティーノ芸術祭参加候補者データをメキシコ側に提示した。基金側で東京ブラススタイルのみを紹介したわけではない。

委員：今後、案件概要の相手方選定プロセス欄には、選考経緯として、競争的な要素があったのかどうか、どのような団体と比較した上で決定したのかが分かる

ような記述をお願いしたい。

カ. 平成28年度招へい者向け海外旅行傷害保険契約(連続一者応札案件①)

案件審議に入る前に、連続一者応札に関し、件数の推移、フォローアップ票の公開等について事務局より補足説明。

基金：当基金の招へい者及び随伴家族に対する保険に係る入札である。日本人向けの海外旅行保険に比べて市場が小さく、中国語版手引きの作成を仕様から除く等の見直しを行ったものの、連続一者応札となった。今後、代理店を通じて、保険会社とのヒアリングを行い、改善に取り組みたい。

委員：招へい者が自国で保険に加入する方法はとれないのか。

基金：十分な内容の保険に漏れなく加入していただく観点から、招へい元で一律に加入する必要が高いと考える。

委員：保険対象は毎年変わるのか。手引きは一度作成すれば毎年活用できるのではないか。

基金：基本的に保険内容は変わらないため、ご指摘の通り、一回手引きを作成すれば、変更点の加筆修正のみで使い回すことができる。この点、既存業者にとって有利である点は否めない。

委員：予定価格の作成は難しくないか。被保険者である招へい者の詳細情報を集めない保険商品の契約金額の妥当性はどのように判断しているのか。

基金：予定価格は過去の実績値等から毎年作成しており、それ自体は難しくない。基金で招へいする以上、訪日中に問題があった場合、責任を持つて的確に対応する必要があり、日本の保険会社であれば、招へい者が日本人向けと同様のサービスを受けることができる。日本の保険会社の主たる対象は、日本から海外へ行く個人の保険や、海外進出する企業向けであるため、本件は限られた市場にも拘わらず、保険会社の経営判断において、本件を受託してもらえるのはありがたい。

委員：本件は保険会社の経営判断に拠ることもあり、仕様の変更等、基金の対応に限界があることは理解した。引き続き改善の努力を続けていただきたい。結論として、フォローアップ票の基金の取組みは妥当であると考ええる。

キ. 日本語国際センターで使用する電気の調達(連続一者応札案件②)

基金：改善項目の「②準備期間の十分な確保」及び「③公告期間の見直し」を対応したにも拘わらず、応札者ゼロ。過去実績のある業者にアンケートしたところ「受注しても採算が見込めない」との回答を得た。省エネ対応により使用電力量の大幅な増加は予定しておらず、また、同一管内施設一括入札の対応も不可であるため、引き続き業者への入札案内を行う他ないと考えている。

委員：電力の自由化による影響はないか。

基金：当センターが使用する高圧電力は以前から自由化されており、平成 19 年度より入札を実施している。今年度、一般家庭に対し自由化され、登録業者数は増加したが、当センターに関心のある業者数は増加していない。  
東京電力より入札前に質問を受けたが、同社は4月に分社化を控えていたため、応札できなかったのではないかと推察する。

委員：電気とインターネットなどをセット提供するサービスもあると聞いているが、こうした調達は可能か。

基金：国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推薦に関する法律があり、入札段階で温室効果ガス排出係数を公表している事業者でないと応札できない。係数のハードルを高く設定しているわけではなく、係数を公表している事業者は比較的大手の事業者に限られるのが実情である。

委員：どの程度の電気使用規模があれば、応札してもらえるのか。

基金：具体的な数値は調べていない。

昼夜問わず稼働している工場や高層ビル一棟全体で採算が取れるようだ。

委員：現状につき理解した。引き続き業者への案内を行う他ないと考える。よって、フォローアップ票の基金の取組みは妥当であると考えます。

#### ク. 平成28年度日本語専門家等及び“日本語パートナーズ”の派遣に関する業務委託契約

案件審議に入る前に、本件が年度途中の契約解除及び緊急の必要性による随意契約であることから基金側で抽出した旨、また、契約解除後、当該業者に対し、本件派遣事務業務に限り、2か月間の指名停止措置とすることを検討している旨を、事務局より説明。

委員：派遣事務業務については、過去 10 年程、委託実績があるとのことだが、過去の委託先はどのような業者か。

基金：今年度途中に随意契約を締結した国際フレンドシップ協会が、昨年度分を受託していた。

委員：本件の随意契約理由については了解した。他方で、冒頭の調達等合理化計画で説明のあった小分類上では、本件随意契約はどこに分類されるのか。数値目標 79.4%に影響はないのか。

基金：本件は「緊急の必要性による随意契約」であり、「契約の性質または目的が競争入札に適さない随意契約」ではないため、小分類のいずれにも該当しない。他方で、本件は「競争性のない随意契約」に分類されるため、数値目標の阻害要因にはなり得る。

- 委員：指名停止措置は全ての入札が対象か。
- 基金：今回は派遣事務業務のみに限定して指名停止とする。
- 委員：契約解除した相手方は、新規受注のため慣れていない点を考慮しても、職員の質に問題があったのか、それとも体制の問題か。
- 基金：面接の段階で、体制の手薄さは指摘しており、右技術点にも反映した。業務開始後、履行状況に問題が見られたので、再度指摘し、スタッフ数を倍に増員してもらった。しかし、その後も単純ミスが続き、面談や文書での指摘を行ったが改善が見られず、最終的に質の問題と判断した。
- 委員：仕様書上、複数の業務内容が含まれているが、分割して業務委託する方法は検討可能か。
- 基金：ある程度の業務量がないと、受託側にメリット感がなく、応札者が限られることを懸念した。今回は、業務をまとめることで、応札者を増やしたい意図があった。来年度の契約については、今年度中に再度入札を予定しており、業務内容及び求める人員体制の水準、質の担保について、仕様書の記述を工夫する等、同様の事態を招かないよう検討していきたい。
- 委員：事前面接で指摘したにも拘わらず、十分な体制を整えなかったのは問題である。技術点の採点方法、加重点の置き方も検討の余地があるだろう。
- 基金：上述の通り、人員体制については技術点を下げたにも拘わらず、応札金額が非常に低く、除算方式で逆転した。今後は加算方式も検討したい。
- 委員：本件に限らず、入札においては、それぞれの案件に応じて、基金の性格上、求めるべき競争参加資格を検討いただき、公告や説明会において丁寧な説明、仕様の工夫を引き続き心掛けていただきたい。

以上

平成 28 年度第 1 回契約監視委員会 抽出案件一覧

	契約名称	契約の相手方	契約方法	契約金額	担当部署
1	文書保管業務委託契約 (平成 28 年度)	株式会社住友倉庫	一般競争	5,100,659 円	総務部総務課
2	平成 28 年度 公用車運行管理業務委託契約	帝都自動車交通株式会社	入札不調	8,766,489 円	総務部総務課
3	「第 15 回ヴェネチア・ ビエンナーレ国際建築展」 映像制作業務委託契約	ドローイングアンドマニュアル 株式会社	随意契約	5,506,707 円	文化事業部事業第 2 チーム
4	「第 15 回ヴェネチア・ ビエンナーレ国際建築展」 出展作品国際運送契約	山九株式会社	一般競争	3,602,575 円	文化事業部事業第 2 チーム
5	「東京プラススタイル・メキシコ 公演」に係る業務委託契約	有限会社マッシュヴ・ エンターテイメント・ジャパン	随意契約	1,771,200 円	文化事業部事業第 1 チーム
6	平成 28 年度招へい者向け 海外旅行傷害保険契約	損害保険ジャパン日本興亜 株式会社	一般競争	14,372,090 円	経理部会計課
7	日本語国際センターで 使用する電気の調達	東京電力エナジー パートナー株式会社	入札不調	17,293,266 円	日本語国際センター教師研修チーム
8	平成 28 年度日本語専門家等 及び“日本語パートナーズ”の 派遣に関する業務委託契約	①国際交流サービス協会 ②国際フレンドシップ協会	①総合評価 ②随意契約	①26,545,786 円 ②27,995,935 円	日本語事業部企画調整チーム アジアセンター日本語事業第 1 チーム